

有限会社岩元製材の木質バイオマス利用による CO₂排出削減量の認証

有限会社岩元製材は、昭和 40 年に設立し、スギ、ヒノキの小径木、大径木を用いた製材加工を行っている。

製材品の乾燥には、重油を燃料とした人工乾燥施設を用いていたが、工場で発生する製材端材の有効活用と、化石燃料の使用量削減を図るために、平成 23 年度に製材端材を利用する木質バイオマスボイラーを導入した。

このように、代替燃料として木質バイオマスを利用することにより、化石燃料由来の CO₂ 排出量の削減を図っている。

1 認証の概要（1 件 62 t-CO₂）

		令和 8 年度
認証量		62t-co2
認証年月日		令和8年8月25日
算定期間		R7. 04. 01～R8. 03. 31
木質バイオマスの仕様実績 (製材端材)	全乾重量	80. 10t
	使用重量	160. 20t
	(平均含水率)	50%

2 施設等の概要

- ① 木質バイオマスの種類 : 製材端材
- ② ボイラー等の種類 : 木質バイオマスボイラー
- ③ 木質バイオマスボイラーの概要
 - ・ 使用燃料 : 製材端材
 - ・ ボイラー型式 : N-500NSB
 - ・ エネルギーの用途 : 木材乾燥機
 - ・ 導入時期 : 平成 23 年 12 月



木材乾燥施設全景



木質バイオマスボイラー